



銅製麒麟（太宰府天満宮蔵）



半鐘（清瀧寺蔵）

令和8年度 秋季特別展

清瀧寺蔵

博多鑄物師 山鹿家の軌跡

～ 芦屋から博多へ～



重要文化財 芦屋鍛地真形釜（芦屋釜の里蔵）

芦屋金屋に本拠を置き、室町時代を中心に活動した芦屋鑄物師。江戸時代初期頃、彼らの一派は博多に移り住み、故地にちなんで「山鹿」姓を名乗る。博多鑄物師となった山鹿家は、茶の湯釜をはじめ、梵鐘や銅像等、優れた作品を生み出した。芦屋鑄物師をルーツとすることに強い矜持をもっていた山鹿家。芦屋から博多へ移った彼らの軌跡を、作品や史料から探る。

令和8年

10月14日(水)→
12月6日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時

（入館受付 午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜 祝日にあたる場合は翌平日

入館料：18歳以上 300円（200円）

高校生・中学生・小学生 100円（50円）

※20名以上の団体は（ ）内の割引料金



芦屋釜の里

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 1558-3

Tel: 093-223-5881